

# セント・マリーズ St. Mary's

第3号

2010年10月

ご自由に  
お持ちください



中央診断治療センタースタッフ  
(装置は320列CT)

## 目次

## INDEX

- |   |                                   |   |                                      |      |        |
|---|-----------------------------------|---|--------------------------------------|------|--------|
| 2 | インタビュー ひと<br>医療安全管理本部 本部長<br>本田順一 | 5 | 病気と向き合う                              | 7    | 活動日記   |
| 3 | 診療科訪問<br>中央診断治療センター               | 6 | 健康エクササイズ<br>内転筋トレーニングで、<br>きれいで元気な足に | 8    | トピックス  |
| 4 | 新病棟建築計画                           |   | 健康献立<br>ほうれん草としめじの和えもの               | 9・10 | 外来診療体制 |

## 医療安全管理本部長 本田 順一

久留米大学勤務などを経て、2007年4月から感染制御科診療部長、2009年4月から医療安全管理本部長。現在、感染制御科診療部長、感染症科診療部長を兼務。

## ヒューマンエラーを いかになくすか。 感染対策は着実に 前進しています。

### —— 安全管理本部の位置付けを？

病院の安全管理には、医療事故などの防止と院内感染防止のふたつの柱があります。医療安全本部員は8人ですが、これだけの陣容は大学病院レベルでもあまりありません。いかに医療の安全というものを当院が重要視しているかの証拠です。

### —— 日常的な安全管理の仕事は？

インシデント\*やアクシデントの報告が毎日20件程度上がってきます。それを毎朝チェックし、いち早く動かないといけない重要事例は、担当の看護師長が現場へ行って対処します。至急改善策が必要な場合があるので、早め早めの対応が欠かせません。

\*インシデント=アクシデント(事故)につながる恐れがある事例

### —— どういった事例がありますか？

インシデントでは、たとえば薬剤の間違いなど。薬剤処理は毎日何百件とあり、何段階もの人の手を介して渡ってきますので、間違いが起こりやすい要因をはらんでいます。また患者さんの転倒・転落もあり、骨折や脳内出血といった大事につながるケースもあります。

### —— どのような対策を講じていますか？

多くは「ヒヤリハット」の事例が大部分です。事故ではない、しかし、いつ医療事故につながるかもしれないので、詳細に解析します。まず個々の事例を分析し、背景要因を探ります。そして、改善策を見出していく。これが基本的な仕事です。週1回は会議を開き、発生部署には改善策を出してもらうようにしています。

### —— 発生の背景をどうとらえますか？

ほとんどがヒューマンエラーといわれるものですね。

思い込みと確認不足。このふたつに尽きます。医療業務には大勢の人が関わっているので、ヒューマンエラーを起こしやすい状況にあります。

### —— 阻止できていますか？

かなりの部分は防げますが、チェックをすり抜ける場合もあります。チェック自体の形骸化も起きています。そこで、機械的にチェックできないかを考えています。ヒューマンエラーが起きる余地をなくそうというものです。電子カルテの活用はその重要な方策で、可能な限りチェックのシステム化ができないかと考えています。

### —— 感染対策については？

専任の感染管理の看護師がおり、毎日各病棟に出向き活動しています。さらに講習会等もたびたび開いています。院内の感染問題は確実に排除出来てきており、どこに出しても恥ずかしくないだけの実績を挙げていると思います。

しかし感染対策に完結はありません。今後も地道な感染対策を実行していく必要があります。

### —— 多忙な中ですがストレス解消法はいかがですか？

ジョギングですね。週に2回、1時間ほど走っています。年1回はフルマラソンに出るのが目標。今年は3月の沖縄マラソンで走りました。大学勤務のときはホノルルマラソンに出場していました。5回は走ったと思います。

### —— 座右の銘は？

仕事の面では「諦めたら終わり。継続は力なり、です。何事も続けていくことが重要ですね。人生では、昔から「レットイットビー、です。なるようになるさ、ケセラセラですね。性格的にはこちらの方だと思っていますが。



introduction

# 中央診断治療センター

充実の診療体制で医療を底上げ  
最先端機器を駆使した画像診断と治療

中央診断治療センターは第8診療部と先進メディカルセンターを拠点としています。最新鋭のMRI(磁気共鳴診断装置)やCT(X線診断装置)、リニアック(放射線治療装置)などの高度医療機器をそろえています。専門スタッフがこれらの機器を駆使し、画像診断やがんの治療を行い、病院全体の医療レベルの底上げを図る部門です。

## ◆専門医・技師・看護師が連携プレー

当センターは放射線科、核医学診断科、放射線治療科、臨床放射線室から成っており、画像診断と放射線治療の全般を受け持っています。スタッフは放射線科専門医、機器をとり扱う診療放射線技師・看護師の総勢70名を超えており、大学病院にもひけをとらない陣容です。各部門の緊密な連携・協力のうえで業務を遂行しています。



専門医による読影

## ◆迅速・的確な診断でよりよい治療を

診断部門(放射線科、核医学診断科)では、内・外科など各科のオーダーに応じて的確に検査を行い、熟練の専門医が報告書を作成し、臨床現場に速やかに伝達することで適切な治療に結び付けます。このため、当院では高性能機器の導入を積極的に行ってきました。MRIでは、臨床最高レベルの磁場強度を有する「3テスラMRI」装置を増設しました。高精度の画像が得られ、頭部診断では脳梗塞の予防につながる検査ができています。CTでは心臓や小児でとくに高精度の診断が可能な「320列CT」が導入されています。また、最新のがん診断装置「PET-CT」も設置されています。がんの発見や転移・再発の診断に有効で治療方針の決定に大いに役立っています。

ほか、カテーテルを放射線で見ながら行う局所治療もここでを行っています。インターベンションと言います。緊急の止血、肝癌の塞栓療法などが主なものです。

## ◆“体にやさしい治療”の実践

がんの放射線治療は体の形や機能を温存することが可能で、`体にやさしい治療、といえます。年々増加する患者数に伴い、これまで以上に必要とされている分野です。当院の治療部門(放射線治療科)では、臨床各科と連携して治療を行っています。治療には体の外から照射する「外照射」と子宮がんなどで線源を体内に入れて行う「内照射」があります。いずれも専門医と治療技師がコンピューターを駆使し、安全で効率的に行っています。とくに内照射に



画像診断の様子

関しては症例が豊富で、経験に裏付けられた確かな技術を提供しています。

## ◆24時間体制で診断カバー

当院のモットーである`24時間断らない医療、に合わせ、当センターも日・祭日を含め24時間体制で多種多様な診断領域をカバーしています。月間の検査実績はおおむねCTで2,500~2,800件、MRIで800件、胸や骨などのX線写真は10,000件程度になっています。

※当センターについては聖マリア病院のホームページを参照ください。

## 敵を知り己を知らば

中央診断治療センターでは放射線を多く取り扱っています。放射線は現在の医療に絶対に欠かせないものですが、危険な一面も有しています。従って私たちスタッフには放射線に関する知識・技術が特に要求されています。「敵を知り己を知らば百戦危うからず」は放射線診療にも通じることであるとは先輩たちからよく聞かされたことで、日常の戒めになっています。

業務内容は診断、治療の多岐にわたります。いずれもそれぞれに精通した専門医・専任スタッフが担当し、院内・院外の臨床現場の様々なニーズに対応しています。

私たちは皆さまがお受けになる診療の質を後方から支える立場にあります。診療現場の最前線に立つことはあまりありませんが、放射線による診断や治療を通じて、より質の高い医療が提供されますように日夜尽力しています。



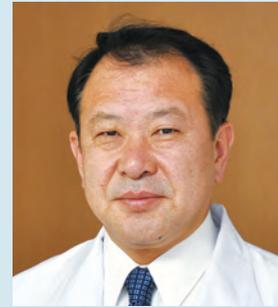
中央診断治療センター長  
桂木 誠

# 新病棟の建築を進めています

地上19階・地下2階、平成24年に完成  
さらに良質の医療提供をめざします

当院は地域災害拠点病院、救命救急センターとなり、災害医療及び救急医療の充実を図ってきましたが、母体施設の耐震構造の必須化を求められたことにより、新病棟建築の構想が生まれました。1953(昭和28)年に井手一郎先生がこの津福本町で立ち上げられた聖マリア病院発祥の地で、継続して医療を行っていくことをまず決め、第3診療棟、リハビリセンター跡地に地上19階、地下2階の病棟を作ることとなりました。

1期工事として3診地下にあった放射線治療装置が振動に弱いこともあり、先進メディカルセンターを作って移設しました。ここにはPET-CTや多人数収容型(Ⅱ種)の高気圧酸素治療装置も設置しています。



病院長  
島 弘志



新病棟の院内イメージ



完成予想イラスト

新病棟の建設にあたっては、患者さんとその家族に焦点を当てた医療を提供する病院にすることは1診を作ったときからの方針でしたが、さらに良質の医療を提供することを付け加えました。患者さんに良質の医療を提供するためには、まず職員が働きやすい環境があってこそ出来るものだと考え、設計には随分と配慮しました。当初は予定していなかった手術室を9室作ることにしたのは、これからの急性期病院はいかに高度な手術がたくさん出来るかが、病院のステータスであり健全経営にも結び付くと考えたからです。

地域医療支援病院として可能な限り、私たちの病院での治療を求める患者さんたちには、全力で対応出来る病院にしたいと思っています。また、国際化の波が押し寄せてきている昨今、わが聖マリア病院も国際機能評価(JCI)を受ける準備を着々と進めており、この新病棟が評価の対象になると考えています。

この新病棟は2012年11月に完成予定ですが、その後も6・8診改築、2診取り壊し後の立体駐車場の建築、5診を取り壊して、図書館、研修室、大講堂を収容する建物の建築を順次行っていきますので、これから8年間ぐらいは建築の音が響き続けると思います。新しい聖マリア病院を作り上げるために全力を傾ける所存です。工事期間中はご迷惑をおかけすると思いますがご理解のほどよろしくお願い致します。

なお、6・8診の改築終了時点で、「何々診」の呼称は廃止致します。

# これからの子宮頸がん予防について 「子宮頸がん予防外来」を新設、気軽にご利用を

がんの予防にはその原因を断つ一次予防と、早期に発見して早期に治療する二次予防があります。子宮頸がんに関しては30年以上前から二次予防である子宮がん検診が行われており、そのお陰で子宮頸がんによる死亡率は確実に低下しています。しかし、数年前よりその死亡率と罹患率が再上昇しており、特に20～30代の年齢層の増加が問題になっています。子宮頸がん検診の受診率をみると、欧米の80～90%に比べて日本では長い間20～30%と極めて低く、特に



婦人科診療部長  
葉 清泉

20歳代では約5%で、頭打ちとなっています。

最近になって、子宮頸がんの原因がヒトパピローマ・ウイルス（HPV）であることが証明され、さらにHPV感染を予防するワクチンが開発されたことによって、子宮頸がんの一次予防が可能となり、その撲滅に大きな期待がかけられています。

HPVは100種類以上の型があり、その中でも癌化しやすいと言われているハイリスクHPVは約15種類あり、日本人の子宮頸がん

に多くみられるのは16型、18型、31型、33型、35型、52型および58型で、特に16型と18型が約60%を占めています。2009年12月に日本で認可発売された子宮頸がん予防HPVワクチンは、HPV16型と18型の感染を予防する2価ワクチンで、「サーバリックス」（GSK社）と言われるものです。このワクチンによる日本人の子宮頸がん予防効果は100%ではなく、HPV16・18型感染以外の予防効果（クロス・プロテクション）も含めて60～80%と言われています。従って、

子宮頸がんを100%予防するためにはHPVワクチンの接種に加えて、子宮頸がん検診の併用が必要です。



当院では2010年7月より「子宮頸がん予防外来」（予約制・自費診療）を新設し、毎月第2水曜日午前中に15歳以上の女性に対するHPVワクチンのカウンセリングやHPVワクチン接種などを行っています。HPVワクチン接種を希望される方、迷っている方またはどうしたらいいかわからない方はどうぞ気軽に御利用下さい。希望の方は下記に電話して予約して下さい。

電話予約：婦人科外来（Dブロック外来）0942-35-3322（内線2005）

※当院のホームページも参照ください。

## 子宮頸がん予防HPVワクチンの接種対象者についてみます

- ①10～14歳：性交経験がないことや抗体が作られやすいことから第一推奨です。この年齢層では自治体の公費で接種されるべきものですが、現在一部の自治体しか行われていないのが現状です。
- ②15歳以上：性交経験がない女性および性交経験があっても、6～12カ月以内の子宮がん検診が異常なしでHPV感染の有無を調べるHPV検査が陰性である女性も推奨されます。
- ③その他：日本人一般女性の約70～80%以上はHPV検査が陰性であることがわかっており、ワクチン接種でその効果が期待できる上記対象①と②以外の女性もいますので、個別に検討が必要です。

ちびボール  
体操

第2回

# 内転筋トレーニングで、 きれいで元気な足に



国際保健センター  
ヘルスフィットネスインストラクター  
大瀧 勝敏  
体操: 三宅 華恵

このコーナーではちびボールを使って元気なカラダを手に入れるためのエクササイズを紹介しています。ちびボール体操は運動療法や介護予防などで幅広く使われていて、当院の患者様にも大変好評です。第2回目は「内転筋」のトレーニングです。

ボール挟みスクワット

- 1 両膝のやや上のあたりにボールを挟んで自然に立ちます。
- 2 両手を頭の後ろに組んで、背中が丸くならないように気をつけながらゆっくり膝を曲げてしゃがんでいきます。この時、膝がつま先より前に出ないように気をつけましょう。(お尻を少し後ろに突き出す感じになります。)
- 3 しゃがんだ姿勢で約1秒キープします。キツイけど頑張ってください!
- 4 ゆっくり膝を伸ばしてもとの姿勢に戻ります。



ボールを挟むことで内転筋(ももの内側の筋肉)を刺激し、「足を閉じる筋力」が鍛えられます。内転筋のトレーニングは、きれいで元気な足をつくり、骨盤の安定やおなか引き締めにも効果があるのでぜひ実践してみてください!

回数の目安: 10回~20回、  
1分間の休憩を挟んで3セットを目標に

注意 呼吸が止まらないように気をつけてください。

アレンジ

椅子に座ったままできるペットボトルつぶしトレーニング。  
両膝の間に挟んだペットボトルをつぶします。20~30回くり返しましょう。



健康献立

## ほうれん草としめじの和えもの

● 栄養指導管理室 ●

「葉酸」は細胞の新生や赤血球の形成に不可欠なビタミンB群のひとつです。動脈硬化や認知症の予防など高齢社会で重要な役割を果たすビタミンとして注目されています。貧血の予防や胎児の発育にも欠かせない栄養素です。「葉酸」が多く含まれる食品には鶏レバー、菜の花、枝豆、ほうれん草、ブロッコリーなどがあります。今回はとっても簡単で、「葉酸」たっぷりのレシピを紹介します。(当院の食事でも提供中です)



材料(1人前)

- ほうれん草 ..... 60g
- しめじ ..... 10g
- しょうゆ ..... 4g

作り方

- 1 ほうれん草、しめじをそれぞれゆでます。
- 2 しょうゆであえたら、できあがり。

(参考文献:「栄養と料理」2010年5月号)



DIARY

# 活動日記

私たち聖マリア病院では医療業務に全力を挙げるとともに院内慰問活動、地域イベントへのスタッフ派遣、国際協力事業など様々な活動に取り組んでいます。



聖マリア  
ケアプランサービス所長  
津田 スエカ

## めまぐるしく変化する医療現場で懸命に勤務 福岡県看護協会会長賞を受賞



福岡市で開催された第35回福岡県看護協会通常総会に於いて県看護協会会長賞を受賞しました。これは、福岡県内で長年にわたり看護師として業務に精励し県民の保健衛生の普及と増進に寄与し功績のあった者として表彰されました。

私は、聖マリア学院看護専門学校を卒業後、聖マリア病院へ就職し現在に至っています。就職当時は、現在の1診に本館と呼ばれる建物があり、救急車が玄関先に駐車されており、依頼があれば直に出動できるように配置されていました。24時間365日休むことなく病院は稼働しており、新生児から成人まで幅広い年齢層の患者を診療し地域医療へ貢献してきました。職員や組織は現在のように大きくなく、職員すべてを把握できるくらいでした。

以前は、看護師は何でもしなくてはならず、ある時は医師が行うようなこと、ある時は事務的な仕事や薬剤師が行うような仕事など、今では考えも及ばないような業務内容でした。それらは徐々に業務改善や職員の教育体制の整備により改善されてきました。さらに現在では、IT（情報技術）化により業務内容も整理されてきており、医療も看護も進歩し、看護の質も向上してきました。このように、めまぐるしく変化する医療の現場で勤務が継続できたことは、自分自身の自信にもつながりました。

現在私は、在宅部門で介護支援専門員として勤務していますが、看護師としての知識や経験を生かすことが出来る部署です。急性期部門で勤務していた時は、患者さんが入院中のことは重視していましたが、在宅で帰られてからの生活を見据えた看護が出来ていなかったと反省しています。在院日数が削減され早期に退院となる患者さんや在宅で生活している方々が安心して生活できるように支援を行うためには、看護・介護いずれも重要な分野です。今回の受賞を機に、さらに気を引き締めて頑張りたいと思っています。

## 院内や地域の話題・お知らせを紹介します

## TOPICS

## 1

## 病室用にいかが。エコフラワーあります

聖マリア病院内に、花店がオープンして10年目になりました。患者さんや病院職員より「院内で毎日お花が見れて癒しになります」と喜ばれ、店のスタッフの方が逆に元気もらっています。入院中の患者さんに、少しでも季節を感じてもらえるよう日々心がけています。最近では、ブリザードフラワー、アロマのアレンジメント、エコフラワーなどを販売しています。とくにエコフラワーがおすすめです。光触媒のコーティングがしてあり、環境によいといわれています。飾るだけで、空気清浄器の役目をするようで、患者さんにやさしく病室用に最適です。当院ではおもにお見舞いの贈り物などとして大変喜ばれています。また結婚式の装花やブーケ、花束、アレンジメントなどお花でお客さまの思いを伝える、そのお手伝いが出来れば幸いです。（サンループ・フラワーショップ）



## TOPICS

## 2

## 青木繁の旧居ファンに人気、観月会も

夭折の天才画家と呼ばれる洋画家・青木繁の旧居（久留米市荘島町）が絵画ファンの関心を集めています。10月23日には旧居を会場に観月会も開かれます。青木繁は1882（明治15）年、荘島町生まれ。「海の幸」や「わだつみのいるこの宮」など数々の名作を残し、28歳で死去しました。同じく久留米市出身で同年の坂本繁二郎とは同じ画塾で切磋琢磨し、日本画壇のふたつの大きな山脈となりました。旧居は青木が17歳で上京するまで暮らした家で、地元保存会の活動を原動力に、2003年に新たに建築・復元されました。床の間や広縁、階段など元の材料を使い、青木が暮らしていたころの趣きを再現しています。旧居内には青木の作品の複製や画業に関する資料等が展示され、その足跡をしのぶことができます。入場無料。



## TOPICS

## 3

## 秋の山里を満喫してみませんか

山里の秋を楽しむ催し「来て見てん山苞（やまづと）の道」が11月2・3日、久留米市田主丸町の山苞の道で開かれます。山苞の道は「山に包まれた道、おみやげの多い道、という意味で、耳納連山のふもとに約5・7キロにわたって続いています。道沿いにある果樹園やギャラリー、工房、特産品のお店などが訪れる人を出迎えてくれます。

## ご意見箱・お便り



## 胃カメラの説明で安心検査

私はこれまで数回胃カメラで診察を受けましたが、毎回不安がついて回りました。でも今回は医師・看護師さんから早め早めに胃カメラの動きや、予想される痛みなどの説明があり、苦痛がやわらぎ安心して受けることができました。数分の間でも患者はいろんなことを考えます。そんなときの声かけで心が温まります。（要旨）

患者さんにとってはつらい検査が多い中、今後も安楽な検査を受けていただけるよう最善を尽くします。

聖マリア病院  
患者さまサービス委員会

# 聖マリア病院 外来診療体制

(2010年9月1日現在)

## 第1診療部 3階 Aブロック | 内線:2001,2002

●印が受け付け曜日と時間帯  
☎マークが付いているところは予約制となっております

		月	火	水	木	金	土
消化器内科	午前	●	●	●	●		●
	午後						
外科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後						
呼吸器内科	午前	●			●		●
	午後						
呼吸器外科	午前			●			
	午後						
リウマチ膠原病内科	午前	※新患は紹介状持参					
	☎		●			●	

## 第1診療部 3階 Bブロック | 内線:2003

		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後						
小児整形外科	午前						☎ ●
	午後						
脳神経外科	午前	●		●		●	
	午後						
脳血管内科	午前	●	●	●	●	●	● (再来のみ)
	午後	●	●	●	●	●	●

## 第1診療部 3階 Cブロック | 内線:2004

		月	火	水	木	金	土
形成外科	午前	※熱傷は形成外科		●	●	●	●
	午後		● (口唇口蓋裂)				
皮膚科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後						
泌尿器科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後						
腎臓内科	午前		●	●	●	●	● (再来のみ)
	午後						

## 第1診療部 3階 Dブロック | 内線:2005

		月	火	水	木	金	土
産婦人科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後					☎ ● (腫瘍専門外来)	
放射線科	午前	●		●		●	
	午後						
血液内科 内線:2006	午前	(新患は予約制、緊急時はこの限りではありません)		●		●	
	午後						
緩和ケア内科	☎ 午前	(新患は予約制、紹介状持参を)		●			●
	☎ 午後		●	●	●		●

## 第1診療部 3階 Eブロック | 内線:2007

		月	火	水	木	金	土
精神神経科 心身症 クリニック	☎ 午前	●	●	●	●	●	●
	午後						

## 第1診療部 3階 Fブロック | 内線:2008

		月	火	水	木	金	土
歯科・ 口腔外科	午前	●	●	●	●	●	●
	☎ 午後	●		●	●	●	●

## ● 第1診療部 3階 Gブロック | 内線:2009

●印が受け付け曜日と時間帯

☎マークが付いているところは予約制となっております

		月	火	水	木	金	土
耳鼻 いんこう科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後						
眼科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後						

## ● 第1診療部 2階 Sブロック | 内線:2125,2126

		月	火	水	木	金	土
循環器 内科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後						
小児 循環器 科	午前	(外来開始時間10:30~)	●			●	
	午後		●				☎ ● (胎児エコー)
心臓 血管 外科	午前	(下肢静脈瘤:火曜午前・木曜) ● (再来のみ)	●	● (再来のみ)	●		
	午後				●		
糖尿病 内分泌 内科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後						

## ● 第2診療部 1階

		月	火	水	木	金	土
小児科 内線:2021	午前	*小児科は15歳まで ●	●	●	●	●	●
	午後 ☎	●	●	●	●	●	●
新生児 科 内線:2031	午前	●	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●	●
小児外科 内線:2026	午前	●	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●	●
小児 歯科 内線:2053	午前	●	●	●	●	●	●
	午後 ☎	●	●	●	●	●	●
矯正 歯科 内線:2053	午前	●	●	●	●	●	●
	午後 ☎	●	●	●	●	●	●

### ● 診療受付時間

午前8時30分~11時30分、午後診療は予約制となっております。(夜間救急の受け付けは1診にて行います)

### ● 夜間・日曜祝日の当直体制

内科・外科・整形外科・産婦人科・形成外科・小児科・新生児科・脳神経センター・腎センター・循環器センター・画像診断部の各医師。なお、眼科・精神神経科についてはオンコール制(呼び出し)。

### ● 耳鼻いんこう科・皮膚科・ 歯科について

夜間・日曜祝日の診療は行っておりません。

\*諸々の事情により、上記の予定に変更が生じる場合もございますが、どうぞご了承ください。

### ◆ 看護職員を募集しています ◆

募集職種:看護師・保健師・助産師(既卒者可) / お問い合わせは人事部まで TEL(代)0942(35)3322 ※詳しくはホームページを参照ください。

社会医療法人 雪の聖母会

# 聖マリア病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院

福岡県久留米市津福本町422

TEL 0942(35)3322(代) FAX 0942(34)3115(代)

http://www.st-mary-med.or.jp